



20011127

海で命を落とした父は、幽霊船の船長として役不足なのだろう。私は父から（いやこの船がそう望んだのか）赤海豚号を譲り受け、ネルギウスにかかわる者を一人残らず血祭りに上げると誓った。この船の凄まじい力をもってすれば復讐も容易に思えたのだ。船の真の意図もその時は分からなかった。

私は言い通り、ネルギウスの者を次々と悲惨な末路へと導いてやった。男爵は通る船も無い小さな島で虫を食べ、病身をながらえているし、あの息子達は不自由な体になり、罪人留め置き場で昼夜可愛がられている（次男は乱心の末、薄暗い家畜小屋の隅で首を括ったらしい）。復讐は最後の一人である末娘ジョアン（ジョー）を残し、ほぼ完遂していた。このジョーが、私と「深海の邪神」の戦いの引き金になるなどと誰が予想しただろう・・・。

GALGREASE 005  
HELLCAT

私の名はクリスタベル・P・ア  
タマスタス。ある呪いによって  
幽霊船「赤海豚号」の船長をし  
ている。女海賊だとか魔女だと  
か言われているが、今は亡き貴  
族アタマスタス一族の生き残り  
。まり元々は人間だ。

魔窟館にいる間はさいて、病  
ひ事無く、また人々につけて生  
可な武器ではあらず。それ  
にやがとも魔窟で、さきと  
とは、ない。さきと  
まし、さきと  
初の内だ。私はさきと  
ら解きかしたいの。

わの一族は、さきと  
の魔窟にかり、父と兄が  
消息を絶った後、母は毒殺され  
の者達は皆降敵した。私は  
ルキウスの手の者に借金のカ  
と、さきと  
赤海豚号へ赤り飛ばされ  
り、さきと

SHINJI MASHIMIZU

Christabel P. Athamastus

2003.1.10

さあ  
まだ男を知らぬ  
この剥き出しの書に  
一番槍を  
突き立てたい奴ア  
いないのか！！

確かに上玉だが  
手付かずだと  
なぜ分かる？

4月、台に寄せられると、圓り膝道にむかひに群がになり、路にある圓形時に急降を遂げた。圓形の間にネムギオスの湧らがいたせいだ。まだ分かった事だが時間をはかり、てりとなで休を充分の時間で、下層の女、して下層にきて、おとこを捕まえることも、半面しした。男、承知の事

わ高い  
息子國  
にする  
。同題

20030115  
20030116  
20030117  
20030121

「買取りのほとんどは遊びの主人や執事、  
方だろが、いざいれも咬われた野合の目づ  
をばてた様で、」

「昨日、八景見とら秀麗に驚かされるのでござい  
ない」と何となくぼんやりと異音が聞取がう  
たは、早記の女が私の身体に片腕をのりか  
け、手帳をひき出す。その所を丹念に覗いて  
見れば「朝顔の目」という意だともう、  
た。この様な事案にも「買ひの使事」なるもの  
があるらしい。

うちの値踏み婆が  
最高の札を付けた

野郎で知らずな日本人と住む上での不便は  
しばらくの間で意味が分らない量で済ん  
でいたが、朝飯が済んでいらないといふ  
半端ぶりの食事の量が分らない。それは日本人  
は自らの健康を害して肉をきき上げぬた、  
肉に食れる奴隷商人の手がひどく悪くてい  
た印象が今でも残っている。  
私は神に願いを求めたつもりだったのだが、  
母をどう聞かえたのか、いやは正しかった  
のか、知り得ぬ状況。



*Christabel P. Arhamastus*

事はネルギウスの思惑通りに運ばなかった。何の前触れもなく、颯り場一帯に生暖かく濃い霧が立ちこめたかと思うと、金属の擦れ合う重苦しい音と骨肉の引き裂かれる響き、男達のこの上なくおぞましい悲鳴があたりを埋め尽くした。視界が悪く分らなかったが、私は本能的に海で消息を絶っていた父と兄が戻ったのだと感じた。凄まじい一撃が私と架台を繋いでいた鉄の鎖を断ち切り、材木の倒れてくる音が聞こえたのを最後に、何かが後頭部に当たり私は気を失った。父に抱き抱えられて空を舞う鳥達を見たような気もするがはっきりと思い出せない。ともかく我が一族の血と私の貞節はかろうじて守られ、次に目覚めたときは

大海原の中、大きな船の壁えられたベッドで身体を横たえていたのだ。生きたものの気配が全く無いこの不気味な船は、別の船を見つけると音もなく接近し（見境は無いようだ）、それまで何も無かった柱の影や船倉から現れた無数の兵士（いずれも海で死んだ者らしい。隙間なく補充されるので数は分からない）で襲撃し船を沈め、妙な「祈り」らしきものを何かに捧げている。いつ頃から気付いたのだったか、この連中は私の命令を聞かない。血を好み、襲撃や殺戮をやめさせる類の命令は無視するが、そうでなければ文字通り何でも言うことを聞く。そんな生活に慣れた頃、夢枕に父と兄が立つようになった。





20030108

©SHIROW MASAMUNE / YML U.S.A. 2003  
HELLCAT

©SHIROW MASAMUNE / YML U.S.A. 2003



20030115

HELLCAT

HELLCAT